

I A C S W

岩手県社会福祉士会 ニュースレター

～No. 135 秋の速報版 (Web 版)～



一般社団法人岩手県社会福祉士会
〒020-0810盛岡市中野2-16-1 3A
TEL 019-613-5505
FAX 019-613-5506

「支援者に育てられて」

会員 松本 幸子

宮古市の市街地の北側にある、宮古第二中学校圏域と崎山中学校圏域を担当しております「みやこ北部地域包括支援センター」で勤務しております松本と申します。当地域包括支援センターは、開所3年が経過して、地域の皆様に少しずつ憶えて頂いてきている処です。

この後は、ほんの小さなエピソードですので、多少読み流して頂き、最後の次回の方のご案内をご記憶に留めて頂ければと存じます。

唐突ですが、私は「認知症」という言葉が嫌いです。その3文字で、その方の人生や思いは伝わらないのに、「認知症の人」と情報が伝播していくことが空しいのです。批判している訳ではないので、そこは、どうぞご理解ください。

以前、1ユニット9名の高齢者グループホームで勤務していました。私が最初に担当したSさんは、鏡に映る自分の姿を姉と思い、初めは楽しそうに話しかけますが、返事をしない事に段々と苛立ち、鏡に向かって物を投げたり、叩こうとします。安全のためホームの鏡は新聞で覆われていました。またSさんは、外に出て何故か車の見えるところに座り込む方でしたので、職員が付き添わないとなりませんでした。正直、毎日、困難でした。こちらの意図は全く通じません。出ていったSさんをホームに戻そうとして肘鉄や蹴られたことは何度もありました。

ある夜勤時。ケース入力中、寝ていたはずのSさんが背中に綿入れをかけてくれました。「さんびー（寒い）が、風邪ひぐが」と言いながら、お尻を搔いた後なのか…便臭がする手で、優しく何度も頭を撫でてくれました。複雑な思いでしたが…でも、人として、母として、祖母として、Sさんのこれまで培ってきた愛情を分けて頂き、「その人と成りを知る」と気付く事が出来た瞬間でした。

道端に二人で座り込み、モナカのアイスで「半分こ」すると「これはうんめーねー（おいしいね）」と楽しそうに食べるその姿はとてもチャーミングでした。日々を繰り返すうちに…座り込む私をSさんが「かえっぺす（帰るよ）」と促すように変わっていきました。

その後、Sさんは大腸がんが悪化し、家族の希望でホーム初の看取りをすることになりました。職員の動揺は大きかったのですが、医師と訪問看護と連携し全力で向き合い、旅立ったのは、私の夜勤の晩でした。現在、認知力が低下しても、地域で暮らす方は何人もいます。センターの前を歩いて、近所のお店に買い物に行くその方に、気を付けて！と話しかけると、笑って「大丈夫」と手を振ってもらえます。この前その方が「モナカのアイスはうんめーもんねー（おいしいものね）」と話されたとき、Sさんが思い起こされたので綴りました。

次のバトンを、私共が時折お邪魔する「うみねこカフェ（認知症カフェ）」を運営されてます。社会福祉法人若竹会「多機能事業所ワークプラザみやこ」 鷲田敦子氏 にお渡しします。宜しく願いいたします。

新会員紹介

新たな企画として新会員の紹介コーナーを設定しました投稿に協力いただいた会員は、7月13日(土)の「新会員オリエンテーション」に参加された方から寄せられたものです。以下の項目について差し支えない範囲で紹介いたします。以下の①②③項目で紹介します。

①会員氏名 ②所属ブロック ③これからの抱負④社会福祉士会へ一言

①会員氏名：田代英

②所属ブロック：盛岡ブロック

③これからの抱負：現在は、受講させていただいている基礎研修をはじめ、様々な研修や会合等に参加させていただく中で、自分を向上させていきたいと思っています。

①会員氏名：菊池 伸哉

②所属ブロック：盛岡ブロック

③これからの抱負：いろんなことに興味をもって、研修会に参加したり、会員の皆さんと交流を深めたいと思っています。

④社会福祉士会へ一言：お世話になっている先輩方が多数いて、とても心強く感じています。今後ともどうぞよろしくをお願いします！

①会員氏名：中戸鎖 理香

②所属ブロック：二戸ブロック

③これからの抱負：生活相談員の業務の中で、ご入所者やそのご家族との相談業務を行っています。不案ごとや悩みが少しでも解消され、皆さんが笑顔で生活できるよう支援したいと思っています。相談員としてまだまだ未熟者で、専門的かつ幅広い知識が必要だと痛感しております。資格取得してからが本番。社会福祉士として研修に参加しソーシャルワーカーとしての実力を高めていきたいと思えます。どうぞよろしくをお願いします

④社会福祉士会へ一言：新会員オリエンテーションに参加させていただきありがとうございます。昨年30周年を迎えられ14名から始まり現在740名(数字が間違っていたらすみません)の登録者が活躍されていることを知ること、先輩方の積み重ねのおかげで多くの活動と研修に参加することができ、恩恵を受けていると感じました。感謝の気持ちでおります。基礎研修終了後は成年後見の学びをと考えておりましたが、参加することで多くの活動があることを知りました。たくさん関係機関の支援でご利用者がふかふかの状態で生活できるが理想です。まだまだ未熟者で、現在資格取得の勉強中です。知識をつけ、人脈づくりを行い自分の可能性を広げていきたいと思えます。どうぞよろしくをお願いします。

- ①会員氏名：家後優希
- ②所属ブロック：沿岸ブロック
- ③これからの抱負：社会福祉士として理想の姿を定め、研鑽を重ね人に寄り添える存在になれるよう、より一層努力し続けたいと思います。
- ④社会福祉士会へ一言：社会福祉士会の一員として、自分に何ができるのかを見つけ、皆様と共に地域に貢献できるように努力していきたいと思います。宜しくお願い致します。

- ①会員氏名：根子裕司
- ②所属ブロック：中部ブロック
- ③これからの抱負：業務として権利擁護や意思決定支援に関わってきましたが、専門職として関わりたいと決意しております。

- ①会員氏名：田中館桃子
- ②所属ブロック：盛岡ブロック
- ③これからの抱負：やりたいことが沢山あって混乱しています。基礎研究を受講しながら、ゆっくり考えたいと思います。身体が続く限り頑張ります。
- ④社会福祉士会へ一言：様々な情報を発信して頂きたい。

- ①会員氏名：細田真理子
- ②所属ブロック：盛岡ブロック
- ③これからの抱負：子ども家庭福祉（SSW を含む）や地域福祉に関心があり、今後関わっていきたいと考えています。そのためにも学びと実践を継続していきたいです。
- ④社会福祉士会へ一言：学びの機会や会員同士のつながりの機会を促進して下さりありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いいたします。



「2024年度ソーシャルワーク三団体合同研修会」～多様性の尊重をめざして～



講師の加藤麻衣氏は、岩手県盛岡市出身。岩手大学教育学部卒。在学中に性的少数者(LGBT など)の居場所づくりを進め、2018年～2021年、「いわてレインボーマーチ」代表。2019年～2023年に盛岡市議会議員を務め、盛岡市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の設立に尽力されています。

7月20日(土)13:00～マリオス18階会議室にて、岩手県精神保健福祉士会、岩手県医療ソーシャルワーカー協会、岩手県社会福祉士会の主催により、「2024年度ソーシャルワーク三団体合同研修会」を開催。74名(うち岩手県社会福祉士会は35名)が参加しました。

今年度のテーマは「LGBTQ+を含めた多様性の尊重ー今、私たちにできることー」。第1部は、「おやおや」代表 加藤麻衣氏に「全ての人が尊厳をまもりあう社会へ、共に。」と題してハイブリッドで講演をいただきました。第2部はこの講演をふまえ、岩手県医療ソーシャルワーカー協会小泉会長をコーディネーターとし、多様性の尊重に向けたアクションプランを考えるグループワークを行いました。

参加者アンケートでは、「『多様性』とわざわざ言わなくても暮らせるのが、本来の姿と思った。しかし、そうなるには、まず自分の価値観、バイアスに気づき、そのことで人を傷つけないように言動を取れるようになることが、一人一人に求められると痛感した。」「マイノリティの方たちが置かれた現状について改めて考えさせられた。この状況を変えていくことが社会福祉士に求められる使命だと考えさせられた。」「正しい理解をしていくことの重要性を痛感した。知らず知らずにレッテルを張っている自分に気づいた。研修や出会いが大事だと思った。」「とても有意義な研修会でした。テーマは、三団体に共通する内容ということで難航するかと思いました。しかし、SWとして共通する部分は必ずあると思います。今後もそのようなことを考える場としてとても良い研修会だと思います。もちろん、懇親会もグッドです！」などの感想が寄せられました。終了後の懇親会はコロナ禍後、久しぶりの開催となりました。

開催に当たっては、今年度は岩手県精神保健福祉士会を幹事とし、3月下旬から役員及びスタッフがオンラインで5回の打合わせを実施。岩手県士会からは実践研究委員会が協力を行いました。8月23日には改めて同じメンバーで研修の振り返りも行っています。その中で、準備や周知等、運営の改善点等を共有しつつ、「研修準備を通じてSW三団体の関係性が深まったこと」が確認されました。「来年度は1月から研修の企画を話し合おう」「ソーシャルワーカーデーなのだから、会員外にも発信できる研修にしよう」「これをきっかけに、研修にとどまらない三団体の協力体制や新しい関係性を模索していこう」といった積極的な意見が出されています。



第二部グループワーク「多様性の尊重に向けたアクションプラン」



懇親会終了後、講師を囲んでスタッフ・参加者で！

能登半島地震被災者支援活動を振り返って

「能登半島地震における被災者支援活動協力」に応募し、活動に参加された会員からの報告を掲載します。中部ブロックの白藤誠様、高橋飛鳥様、ご苦労様でした。

3月までの募集を行っていますので、希望する会員はP8の応募の願いを参照下さい。

西和賀町地域包括支援センター 白藤 誠

7月29日から5日間、「生活支援相談員」として金沢市内のみなし仮設住宅・公営住宅に居住する被災者の支援活動に参加してきました。

震災前と比べて、「体重の減少」「飲酒量の増加」「ストレスの増加」「身体の痛み」「息子の急死」等、生活環境の変化により体調不良や家族を失った悲しみと生活への不安等、目では見えない様々な課題や悩みを抱えている方が多くいることを実感しました。中でも、今後の生活に不安を抱えている方は多く、継続的な関わり、生活に伴走する支援が今後必要ではないかと感じました。一方で、被災地の孤立地域の中には、やっと電気が復旧した所もあり、最低限の生活を送るにはまだまだ時間が必要な状況です。

5日間をとおして、全国各地から同じ志を持った社会福祉士の方と活動ができ、沢山の刺激を受け、充実した日々を過ごすことができました。最後に、坂口様、西尾様には参加にあたり調整等していただき、感謝申し上げます。

金沢市災害支援活動に参加して 高橋飛鳥

突然前触れもなく自宅が被災し、慣れない土地での生活を送る避難者はまだまだ約7000世帯に及び多くの方が県内外での避難を続けている。この現状の生活の支援で私は何ができるのか？むしろ何もできることはないのではないかと思いながら、被災者の現状を知るには現地に行くことであると考え活動に参加することにした。

全国各地から、有志ある社会福祉士会所属の活動員がペアになり1日15~20件ほど、みなし仮設に入居されている家庭を訪問。

私が活動時期はみなし仮設に入居されてから2度目の訪問時期に入っている。この活動に参加している多岐分野に渡る全国の社会福祉士会のソーシャルワーカーの結託の強さが感じられた。被災された方の生活が少しでも安定し、その人らしく生活できるようにと思いながら話を聴く、普段の生活であまり口にできないことについて、被災された方が話をする場があるということがとても大切な場であり、被災された方にとって、この訪問活動が大きな意義があることと、今後も多くのソーシャルワーカーの継続した支援が大いに必要だと強く感じる5日間の活動でした。



理事会報告

【日 時】2024年7月13日（土） 12:30~14:30【会 場】マリオス 187 会議室 Web 開催

【出席状況】出席数 24 名（理事 22、監事 1、相談役 1、代理 1）欠席 2（理事 1、監事 1）

【報告事項】

- (1) 日本社会福祉士会の定時総会について、被災地社会福祉士会の会費の減免。いじめ調査の重大事態への対応、被害者支援に係る社会福祉士の活用、子ども家庭 SW 認定資格に係る養成研修の開催等
- (2) 「自治体社会福祉士の支援を考える WT」から、自治体に所属する会員の把握するため各ブロックへ報告を依頼中。今後、会員のニーズを明らかにしたい。
- (3) 「ばあとなあ岩手」から、6/22 の運営委員会で法人後見は検討を継続。・体制強化のため来年度から盛岡、沿岸、中部、胆江は運営委員を 1 名ずつ増員し、研修部会を設置することを検討中。
- (4) 地域共生社会委員会から、7/28 更生支援計画作成に係る研修会開催する。
- (5) 2024 ソーシャルワーク三団体の開催について、7/20（土）LGBTQ+をテーマとして開催。

【協議事項】

- (1) 2024 社会福祉士東北・北海道研修大会（山形大会）について
 - ・日時：9 月 28 日（土）～29 日（日）・会場：山交ホール・2 日目：岩手県からは妊娠 SOS の取組（善友乳児院）を発表予定。
- (2) 能登半島地震における被災者支援活動協力について
 - ・岩手県士会から 3 名（盛岡 1 名、中部 2 名）派遣予定。協力自体は任意だが、各ブロックで会員へ周知いただきたい。
- (3) 慶弔規程の制定について
 - ・慶弔規程の制定自体は賛成。10 月理事会までに事務局で検討することとした。
- (4) 就業規程の制定について（熊谷）
 - ・職員就業規程（案）について、税理士より退職引当金の根拠を整理する必要があり制定。
- (5) 謝金等支払基準に関する規程の制定について
 - ・この規程があることで、相手方から講師謝金の照会があった場合にも対応しやすい。（千田）
- (6) 会員情報管理・メール配信システム【WEBCASe-mail 2024 クラウドサービス】について
 - ・会員数の増加に伴い、各会員が会員情報を入力（変更）する形に切り替えることを提案する。

【議決事項】

- (1) 岩手県社会福祉士会役員選出細目の改正について
 - P34 役員選出細目（案）のとおり提案 →役員選出細目（案）のとおり承認された。
- (2) 2025/2026 役員選出選挙管理委員会の公募について（熊谷）
 - ・選挙管理委員推薦ブロックは、二戸、久慈、盛岡、中部、胆江。→選挙管理委員会公募（案）のとおり承認された。
- (3) 会員の入会大会の承認について（熊谷）
 - 転入者 2 名、転出者 2 名、新規加入者 38 名、退会者 2 名について報告。
 - 異議なく承認された。

インフォメーション

【 今後の予定 】

※2024年9月1日現在

9月 7日(土)	日本社会福祉士会 会長会議	10月 8日(火)	事務局会議・正副会長会議
9月 8日(日)	〃 (東京)	10月10日(木)	会計監事監査
9月 10日(火)	事務局会議・正副会長会議	10月12日(土)	第3回理事会
9月 28日(土)	社会福祉士東北・北海道大会	10月26日(土)	ばあとなあスキルアップ研修
9月 29日(日)	〃 (山形大会)	11月9日(土)	「北東北三県小さな勉強会」(ユース委員会)
10月 5日(土)	SSW r 第4回NW会議	11月16日(土)	自殺予防ソーシャルワーク研修

【事務局員：山口依里様が退職されました。】

2016年からの約9年間、当会の事務局員として会の事務・運営にご尽力いただきました。家庭の事情で、9月15日付けで退職となりますことを報告します。

正副会長役員と前事務局長の菅原隆浩様を交えて中野事務所でご苦労さん会を開催し、これまでに業務に感謝しました。

「山口依里さん、これまでありがとうございました！」



【ユース委員会「第14回小さな勉強会 I N岩手-北東北若手社会福祉士の交流会-」】

ユース委員会では、11月9日標記のイベントを企画しています。詳細は、当会HPの新着に掲載しています。参加について検討を宜しくお願い致します。

【ユース委員会活動に係るアンケート調査】

若手社会福祉士を対象とした交流や研修会等に関するニーズ把握と企画立案の参考とするため、アンケート調査を実施することとしました。ご協力宜しくお願い致します。

〇回答フォームURL (当会のHPに掲載されています。)

<https://docs.google.com/forms/d/1tnL1bVSpGb2yHGhdgj-39fWfAbAQ5Cu4VeSsaaqIEJE/edit>

【「メールによる情報一斉配信」登録の御案内】

ホームページの他に、メールによる一斉配信を行っています。登録いただくことで、多様な情報を迅速に提供できるように考えています。登録希望の方は下記事務局へメールでご連絡ください。

【会員入会情報】2024年9月末日時点 (入会率全国第2位)

会員数	増減(前月比)	8月新入会	入会率
821名	5名	4名	27.14%

<編集担当>一般社団法人岩手県社会福祉士会 総務委員会

〒020-0816 岩手県盛岡市中野二丁目16-1SETビル3階A

TEL: 019-613-5505 e-mail アドレス: info@iwate-csw.or.jp

2024年6月9日

一般社団法人岩手県社会福祉士会
会 員 各 位

一般社団法人岩手県社会福祉士会
会 長 坂 口 繁 治

能登半島地震における被災者支援活動協力へのお願い（募集）

本会の運営について、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、石川県社会福祉士会より別添資料の通り、被災者支援活動の協力依頼の文書を受け付けております。

当会では岩手県災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画により支援を進めているところですが、まだまだ継続的な支援が必要であること、東日本大震災での全国会員からの支援に対する恩返し、という意味も含め、全面的に協力して参りたいと考えております。

つきましては、被災者支援活動の参加協力者を募集しますので、別紙の申込用紙に必要事項を記載の上、岩手県社会福祉士会事務局まで郵送又はFAXで申し込みいただきますようお願い申し上げます。

※ 申し込みは随時受け付けますが、活動希望日1か月前には提出をお願いします。

以下、石川県社会福祉士会の依頼文書を要約した内容を記載しますが、不明な点、ご質問は災害支援担当理事 西尾（090-1497-3109）までお願いします。

- ・ 活動期間：令和6年6月～令和7年3月（この間で連続3日間以上活動できる方）
- ・ 活動場所：石川県金沢市内（仮設住宅の設置状況により他市町村もあり得ます）
- ・ 活動内容：現地職員と2名ペアで、みなし仮設住宅避難者の訪問、見守り支援、相談、専門機関へのつなぎ等
- ・ 活動時間：9:00～17:00
- ・ 活動費：日額15,000円（移動日は除き、移動等の交通費は実費負担）
- ・ その他：宿泊場所は無料で準備、入浴可能、調理可能、寝具不要、タオル等持参
携帯電話、タブレット、活動車両あり
社会福祉協議会保険加入

能登半島地震支援活動参加申込書

氏名 (フリガナ)		()	
日本社士会がつけた通しの会員番号		年代	(記入例:40歳代)
可能な支援エリア <input type="checkbox"/> 金沢市内のみ <input type="checkbox"/> 特にエリアにはこだわらない		性別	男性・女性
連絡先		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	
自宅	住所	(〒 -)	
	電話番号	携帯	- -
	FAX		
勤務先	名称		
	住所	(〒 -)	
	電話番号	FAX	- -
連絡先メール	注)携帯キャリアのメールは不可 @		
実務経験 (必ずご記入ください)	相談支援業務	経験年数	年 ヶ月
		<input type="checkbox"/> 地域包括 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> 社協(経験分野:) <input type="checkbox"/> その他()	
	要介護高齢者の相談支援経験	ある・ない	
	地域での組織運営、会議運営経験	ある・ない	
	成年後見人としての受任経験	ある・ない	
災害時の支援経験	<input type="checkbox"/> ある(活動内容:) (期間: 日間程度) <input type="checkbox"/> ない		
運転免許、資格等	<input type="checkbox"/> 自動車運転免許(普通・AT限定)→日常的に運転している <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> パソコン基本操作(可・不可) <input type="checkbox"/> その他資格・免許()		
活動可能時期 (現地で活動可能な時期に○)	年 月		被災地見守り相談支援事業は原則として3日以上連続した活動となります。
	年 月 日 ~ 月 日 (日間)		
	年 月 日 ~ 月 日 (日間)		
派遣依頼文書の要否	<input type="checkbox"/> 必要 ※チェックのある方のみ送付します	派遣依頼文書 ・送付先住所 ・所属長の職名・氏名	
	備考(持病、活動制限、日程の希望等)		

2024年度 岩手県社会福祉士会
自殺予防ソーシャルワーク研修開催要項

1. 趣 旨

誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて、社会福祉士のソーシャルワーク実践が求められています。しかし、生活困窮等の課題から自殺に追いやられる人は絶えません。当会の自殺対策の一つとし、社会福祉士が担う自殺予防ソーシャルワークについて講義・演習を通して学ぶ機会とします。

2. 主 催 一般社団法人岩手県社会福祉士会 自殺対策委員会

3. 日 時 2024年11月16日(土) 12:45~16:30

4. 会 場 盛岡市都南公民館 第一研修室 盛岡市永井 24-10-1 TEL: 019-637-6611

5. 参加対象者

①岩手県社会福祉士会会員 ②岩手県内の自殺予防対策に関心のある社会福祉士等

6. 日程及び内容

日 程	内 容
12:30	受付
12:45	オリエンテーション
13:00	講義「ゲートキーパーとしての社会福祉士の役割」(仮題) 講師: 岩手県精神保健福祉センター 主査保健師兼精神保健福祉相談員 高原 美江 氏
14:20	休憩
14:30	演習「死ぬ!死ぬ!死ぬ!死ぬ!...自殺を訴える者への対応」 -自殺予防のアセスメントツールを通して- 事例提供: 遠野市自立生活相談窓口 相談支援員 佐藤 肇人 氏 ファシリテーター 自殺対策委員 コメンテーター 岩手県精神保健福祉センター 高原 美江 氏
16:30	閉 会

7. 参加費 ・会員:無料 ・非会員:3,000円(当日、会場で預かります。)

8. 申込先

(1) 以下の Google フォームから申し込み下さい。

<https://docs.google.com/forms/d/10EyieHzZnZu0xsPMPtQyw3ZC8000oDjJB1vw0Elaiko/edit>

(2) 岩手県社会福祉士会のホームページからも申込ができます。

9. 申込締め切り 2024年11月11日(月)

10. 担当及び問合せ先

・担当: 自殺対策委員会 担当理事 佐々木・高橋

・問合せ先: 岩手県社会福祉士会 TEL019-613-5505:

伊藤 E-mail: info@iwate-csw.or.jp



11. その他

(1)本研修の参考として「ソーシャルワーカーのための自殺予防対策入門」(ミネルヴァ書房)を一読されることをお勧めします。